

# SPECIAL TALK 先生×子×親

(在校生)

(卒業生)



【市川暁寛さん〈親〉】高校時代、私は野球部に所属していました。ご指導いただいたのが当時部長だった山本真司先生です。厳しい先生でしたが、親身にご指導いただきました。山本先生に出会ったおかげで今の自分があると思っています。娘から「空道をやりたいので豊田大谷高校へ行きたい」と相談されました。恩師である山本先生が空道部の顧問をされていたので、ぜひ娘を預けたいと思いました。娘は楽しそうに学校へ通っていますので、間違いなかったと思っています。

【市川妃舞さん〈子〉(日進市立日進中学校出身)】父の話にもあったように、私が豊田大谷高校へ入学した理由は空道部に入りたいと思ったからです。父も山本先生にお世話になっていることを聞き、ご縁を感じ、家族の会話も増えたように感じます。父を知る先生がいることで、私も安心感がありましたし、今では勉強も前向きに取り組むことができるようになりました。今後も部活動と勉強を両立し、全国大会を目指します。

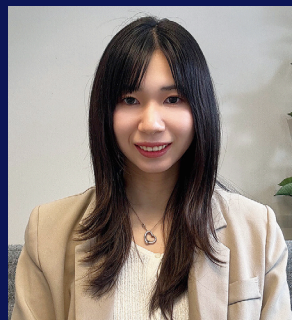
【山本真司先生】一人の教員が親子にわたり指導にあたるのは、私学ならではの強みではないでしょうか。ありがたいことに豊田大谷高校には、市川さん親子のようなご家族が現在も数組ほど在籍しています。卒業生に慕われることは教員としてうれしいこと、と同時に責任の重さも感じています。この親子のバツのように、我々教員も歴史や想いを未来につなげていきたいと思っています。

## 卒業生の声



富士特殊紙業株式会社  
難波 捺希さん(豊田市立立野原中学校出身)  
[2021年度 文理コース卒業]  
[空道部]

食品パッケージを製造・販売する企業に入社。安全性に優れた質の高い製品を作っています。高校時代の部活動では、目上の人を敬うことや、時間に余裕を持って行動することの大切さ、社会人として必要なマナーを習得することができました。



株式会社KGRIT/woo  
有働 円香さん(豊田市立松平中学校出身)  
[2018年度 スポーツ選抜コース卒業]  
[ソフトテニス部]

大学での学びを生かし、オフィスや店舗などの空間デザインを担当しています。高校では、インターハイの出場権をかけた試合で敗勢でも攻めの姿勢を貫き、逆転勝利を収めました。この経験によって、最後まで全力でやり遂げる力が身についたと思います。